| | |
|---|---|
| 事例No. | 2465 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | その他 |
| 団体名 | 特定非営利法人子育てふれあいグループ自然花 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・教育・子育て<br>・地域運営組織<br>・移住定住 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 地域振興 |

事例内容・タイトル

「こどもの声は地域のチカラ！」～山間部の過疎集落における子育て支援～

出典

令和元年度優良事例表彰一覧

総務大臣賞

鹿児島県枕崎市

# 特定非営利活動法人子育てふれあいグループ自然花

## 「こどもの声は地域のチカラ！」
## ～山間部の過疎集落における子育て支援～



活動拠点のツリーハウス広場には，年間多くの親子が訪れ，体験活動を行っている。

## 事例の概要

昔ながらの生活が今も残っている木口屋集落で、親子が一緒に様々な体験活動をできるように、平成21年に「NPO法人自然花」を設立した。活動を開始した当初は、法人職員のみの活動だったが、木口屋集落の住民との連携が生まれ、さらに学生ボランティアや行政と連携することで多彩な活動を行うことができるようになった結果、事業の継続性に繋がっている。

また、親子自然ふれあい体験や子育てサロン等の事業を進める中で、昔ながらの暮らしには高齢者の経験が不可欠と考え、餅つきやそば打ちなどのイベントの際に、高齢者を講師として迎え入れることで、高齢者の生きがいづくり等に寄与しているほか、集落住民が運営側として体験活動に参加することにより、集落内の活性化にも繋がっている。



法人立ち上げ時のスタッフ。集落の方々に温かく受け入れてもらった。

## 評価のポイント

NPO法人子育てふれあいグループ自然花（じねんか）は、農村集落の中に拠点を置き、子ども達のためにと共感してくれる集落住民の経験を借りながら、様々な立場に置かれた子や、その親も受け入れて、暮らしの中で家族それぞれの役割を構築できる場づくりを10年にわたり展開してきた。

自然花のスタッフは、もともと南さつま市の児童養護施設に勤務し、親元を離れた子ども達をケアしながら社会復帰に向けた支援活動を続けるも、コミュニケーションがうまく取れず家庭に戻れなかったり、仕事に就けないケースに直面していた。そこで昔の家族には、暮らしの中に親子が互いの役割を認め合い家族を構築していくプロセスがあり、それが田舎にまだ残っているのではないかと、有志で準備を進める中で、木口屋集落の空き家を紹介してもらい、スタッフの手で改築して、2009年に自然花を立ち上げた。

最初は、自然体験や農業体験を通して親子で共感できる「親子自然ふれあい体験」から少しずつ受け入れを始めた。その中で、子どもが20年近くいなかった木口屋集落に、元気な声が響くようになると、次第に集落の人たちが自然花に野菜を持ってきたり、体験を一緒に手伝ったり、空き地を造成して遊具を作ってくれたり、様々な交流が生まれてきた。近年では集落を離れた他出者や縁戚者も、活動の様子をWebで見て、集落の草刈りにも顔を出すなど、Uターン者も少しずつ出始めている。また、自然花が空き家を改修し、民泊もできる「陽だまりの家」は、市も移住希望者向けのお試し住宅として借り上げを始めるなど、地域の暮らしに触れるコーディネーターとしての役割にも期待を寄せている。

今や、自然花の存在は行政にとっても「無くなると困る存在」となっている。自然花のように、学童の子も、不登校の子も、家庭不和の中にある子も、待機児童になっている子も、専門的知識を持って受け入れられる場所は他になく、様々な事業を通した貴重な連携先となっている。自然花の取り組みは、過疎地域にあっても潜在化してしまう親子関係や子育て環境の諸問題に対して、集落住民の寛容さを交えながら、社会的包摂の場づくりを目指す試金石とも言え、過疎地域におけるウェルビーングの実現に向けた貴重な実践と高く評価したい。



周りには、自然豊かなフィールド。夏の川遊びには手長エビ（ダンマ）や山太郎ガニも捕まえる。冬は、カズラの山でカズラ遊び。子どもだけでなく、大人も童心に戻る。



毎年恒例のそうめん流し。集落内の竹を切り出し、レーンや器を作っている。婦人部直伝の手作りめんつゆは、おいしいと好評。



集落の高齢者が講師となり、ふくれ菓子作り。空き家を改修した「ひだまりの家」の食育体験は、よもぎ団子作りや味噌作り等も行っている。

### Data 鹿児島県 枕崎市（まくらざきし）

団体名▶特定非営利活動法人子育てふれあいグループ自然花
所在地▶〒898-0071 鹿児島県枕崎市美山町33番地
連絡先▶TEL：0993-58-1888　FAX：0993-58-1888
E-mail：jinenka@chorus.ocn.ne.jp
URL:http://jinenka.jp/

**【交通のご案内】**

自動車▶九州自動車道 鹿児島IC（南薩縦貫道利用））より約１時間
鹿児島市（国道225号利用）より約70分
指宿市（国道226号利用）より約70分
南九州市知覧町（県道34号利用）より約20分
南さつま市加世田（国道270号利用）より約20分
鉄　道▶JR指宿枕崎線　鹿児島中央駅より約2時間30分




国勢調査人口　（単位：人）

| 市町村名 | 昭和35年 | 昭和55年 | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 枕崎市 | 33,511 | 30,060 | 26,317 | 25,150 | 23,638 | 22,046 |

人口増減率　（単位：%）

| 市町村名 | H27/S35 | H27/S55 | H27/H12 | H27/H17 | H27/H22 |
|---|---|---|---|---|---|
| 枕崎市 | -34.2 | -26.7 | -16.2 | -12.3 | -6.7 |

高齢者・若年者比率(H27年)　（単位：%）

| 市町村名 | 高齢者比率 | 若年者比率 |
|---|---|---|
| 枕崎市 | 36.3 | 10.9 |